

## 前期 B

## 〔国語〕

一、次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

日本では、宗教は、西ヨーロッパやカナダや米国などと少しちがう形をとりまします。日本人が「あなたの宗教は何ですか？」と聞かれたとき、とくに外国人に聞かれた場合には、話を簡単にしようとして、( A ) 「仏教です」と答えたりしまします。しかし本当のところをいえば、日本人の宗教心は、こういうふうには分類できないのです。いまの日本人は、自分の身内のものの葬式とか、あるいは彼自身の死亡のあとでとかいうふうなとき以外には、仏教のお寺に行くことはありません。だいたいの日本人にとって、ボチは、仏教のお寺の管理のもとにおかれています。そういうかかわり方を除きますと、仏教の特別の宗派の教義に、当人は家族単位で加わっているとしても、その教義が、彼個人の心に思い浮かぶということとは、あまりありません。

仏教と神道とのちがいについても、日本人は、あまり考えることがありません。これら二つの宗教は、西洋の比較宗教の本では二つのがう宗教として分類されているのですが、日本人の気分の中では、ほとんどつながっています。このような宗教意識の中に、仏教・神道以外のさまざまな宗教もまた、織り込まれているので、それらの宗教もまたこのような日本式の宗教心の中で消化されてしまふのです。

都会に住んでいるだいたいの日本人にとって——今日では日本人の大多数が何らかの都会生活をしているのですが——クリスマスというものはよく知られている儀式です。この儀式は、商業を通して、日本国中に広まりました。( B )、十二月末にあたるこのクリスマスの時期は、百貨店にとって、売れ行きを増すためのとてもいい機会だからです。広告というのは、今の日本で人々の楽しめるさまざまな芸術形式の中で最も強力なもので、それがクリスマスを日本人の住んでいる環境の一部とし、毎年の季節めぐりが運んでくるさまざまなもののなかの一つとして、日本のサイジキの中に組み込んでしまいました。クリスマスを期待して、それを迎えるということを通して、日本人は毎年一日だけクリスマスチャンになつていてということもできます。それはクリスマスの贈物をお互いに受け渡しするとか、その日に限ってこれを口実として酒を飲むとかいうだけではなくて、( C ) 毎年一日だけクリスマスチャンになることを通して、日本人はキリスト教の伝説と儀式とを知るようになり、( D ) キリスト教徒の暮らし方に対して共感をもつようになりました。

西欧風の分類法によれば、それぞれちがうものとされているこれらさまざまな宗教が、日本人にとっては、この狭い列島に住むことを通してもつようになった共通の信仰の中に消化されているのです。お互いにいっしょにここに住んでいるという事実を支えるこの宗教心は、明治以後の政府を通して国家宗教のイガタの中に投げ込まれ、現存の政府に対するフクジユウを誘い出すように操作されてきました。( E ) それがただ一つの日本人の共通信仰の生かされ方であるということではできないでしょう。(中略)

日本が西洋諸国に対して国を閉ざしてから、日本のキリスト教徒の多くは、徳川幕府の政権のキョウセイリョクに屈して転向しました。ある人びとは殉教者として、信仰を守って死にました。ある人びとは中央政府から遠い日本列島の隅のほうへいって、そこは中央政府のきびしい監察のもとにおかれていなかったもので、中央政府から強いられていた仏教の形に紛れて、彼らのもとのからのキリスト教の信仰を保ち続けました。

(鶴見俊輔『戦時期日本の精神史』による)

問一、波傍線部 a～e のカタカナを、漢字に改めよ。

問二、( A ) ( B ) ( C ) ( D ) ( E ) の空欄に入る最も適切な語を次の中から選び、記号で記せ。

ア また イ しかし ウ このように エ たとえば オ というのは

問三、傍線部 1 「日本人の宗教心は、こういうふうには分類できないのです」とはどのようなことか。四十字以内(句読点は一字に数える)で記せ。

問四、傍線部 2 「日本式の宗教心の中で消化されてしまふ」とはどのようなことか。具体的な例を挙げて記せ。

問五、傍線部 3 「日本人の共通信仰の生かされ方」とはどういうことか。あなたの思うところを記せ。

二、次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

伝造らが荒波に挑戦するようにして島をあとにしたとき、ひとつ、問題<sup>1</sup>が起こった。食糧である。

海が荒れて出漁<sup>1a</sup>できない以上、島にある食料の蓄えだけで食いつながねばならない。

村長の沖周は、村人たちを集めて、こう頼み込んだ。

「トルコのひとたちのために、食料を持ち寄ってくれ」

村人たちは、すぐに行動した。それぞれの家に蓄えていた卵や甘藷<sup>かんしょ</sup>などの野菜、さらには飼っている鶏も持ち寄って、遭難したトルコ人たちに食べさせようとした。(A)、実をいえば、これらの食材は、村人たちにとっては命の綱ともいうべきものだった。このまま不漁が続けば、食糧はどんどん少なくなつてゆく。(B)、数日を経<sup>くわ</sup>ずして無くなつてしまふにちがいない。だが、ここでもなにか食べさせなければ、遭難者は死ぬ。

——飯は、腹の空いとるもんが食べばええんじや。

誰もが共通した意見だった。

大竜寺の庫裡<sup>くら</sup>の土間には、食材が山と積まれた。

(C)、村人たちは卵や鶏を前にして首<sup>2</sup>をひねった。

——トルコ人というのはどんな料理を食うんやろう。

甘藷<sup>ト</sup>は蒸かせばいいのだろうか、卵は生のまま呑むのだろうか、鶏肉は水炊きにでもすればいいのだろうか。(D)、そういう日本的なものは受けつけず、まさきり別な料理を食べるのだろうか。(E)、米はトルコにあるのだろうか。

考えれば考えるほどわからなくなり、沖周も、斉藤半右衛門も頭を抱えた。

このとき、村民の中に檜田<sup>かした</sup>文右衛門<sup>ぶんえもん</sup>という男がいた。洋食調理の(L)があるという。というのも、トルコ人たちが避難してきた檜野崎の灯台は、明治の初めに英国人が建てたもので、その工事が続けられた際、檜田が洋食を調<sup>d</sup>えたのだという。いまでも、すこしくらいの調理ならできるらしい。

「ぜひ、作ってくれ」

沖は、掌を合わせて檜田に頼んだ。

檜田は「任せてくだはれ」と胸を叩き、さっそく調理した。

この即席の洋食を、トルコ人たちは涙をうかべて食べた。G はほっと胸を撫でおろしたが、それも束の間、米飯<sup>こめい</sup>をどう食べさせればいいのかという新たな問題が生じた。さすがの檜田も(M)した。以前、たしかに米飯は食べさせたが、そのときは西洋式の食べ方で、ナイフとフォークを使つたらしい。

——箸くらい使えるやろ。

と、分署長の小林がみずから箸をつかんで使い方を教えてみたが、まるで(N)だった。

村長以下、村人たちは顔を見合わせて困った。

このとき、(O)を利かせたのが、りつである。

——せやったら、おにぎりにしたらええやん。

いやや、すばやく握り飯を作つて差し出した。

トルコ人たちは物珍しそくに口へ運び、こわごわと食べはじめた。りつは「どうやろ」と上目づかいでウシユクらを見つめ、ほかの村人たちも固唾<sup>かたず</sup>を呑むようにして見守った。(F)、トルコ人たちはいっせいに顔をほころばせ、いかにも美味<sup>うま</sup>そうにむしゃむしゃと握り飯を頬張<sup>ほおば</sup>りはじめたのである。

——正解やんかっ。

りつは叫び、村人たちはいっせいに(P)の声をあげた。

あとは、皆が揃つて食べ始めた。おもいもよらぬ交<sup>い</sup>歓<sup>かん</sup>会が始まった。もしかしたら、日本で初めての庶民同士の交流会だったかもしれないが、これはご飯というんやとか、卵はトルコ語でなんていうんやとか、そこかしこで日本語とトルコ語の(Q)が始まった。

だが、沖の顔はまだ優れない。

<sup>3</sup> まだほかに困っているものがあるからだ。

(秋月達郎『海の翼 トルコ軍艦エルトゥールル号救難秘録』による)

問一、波傍線部 a～f の読みを、ひらがなで記せ。

問二、(A)～(F)に入る最も適切な語を次の中から選び、記号で記せ。

ア さらに イ すると ウ ただ エ しかし オ いや カ それとも キ だいいち

問三、(L)～(Q)に入る最も適切な語を次の中から選び、記号で記せ。

ア 困惑 イ 機転 ウ 喜び エ 感謝 オ 応酬 カ 心得 キ 無理

問四、G に入る最も適切な語を記せ。

問五、傍線部 1「問題」はどのように解決されたか、記せ。

問六、傍線部 2「首をひねった」のはなぜか、記せ。

問七、傍線部 3「まだほかに困っているものがある」とあるが、どんな問題が残されているか、考えられることを二つ記せ。

二〇二二年度 倉敷芸術科学大学 一般選抜

前期 B

〔国語〕

一、

| 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
|----|----|----|----|----|
|    |    |    | A  | a  |
|    |    |    |    |    |
|    |    |    | B  | b  |
|    |    |    |    |    |
|    |    |    | C  | c  |
|    |    |    |    |    |
|    |    |    | D  | d  |
|    |    |    |    |    |
|    |    |    | E  | e  |
|    |    |    |    |    |
|    |    |    |    |    |

二、

| 問七 | 問六 | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | L  | A  | a  |
|    |    |    |    |    |    |    |
|    |    |    |    | M  | B  | b  |
|    |    |    |    |    |    |    |
|    |    |    |    | N  | C  | c  |
|    |    |    |    |    |    |    |
|    |    |    |    | O  | D  | d  |
|    |    |    |    |    |    |    |
|    |    |    |    | P  | E  | e  |
|    |    |    |    |    |    |    |
|    |    |    |    | Q  | F  | f  |
|    |    |    |    |    |    |    |

| 受験地 | 受験番号 |  |  |  |  | 得点欄 |
|-----|------|--|--|--|--|-----|
|     |      |  |  |  |  | ※   |

※は記入しないこと